

東備西播定住自立圏域 J R 利用促進協議会 第 3 回総会 会議録

1 日 時 令和 6 年 3 月 2 7 日 (水) 1 7 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0

2 場 所 備前市日生総合支所 防災センター 2 階

3 出席者

(1) 会 員

吉村 武司	備前市長
牟禮 正稔	赤穂市長
梅田 修作	上郡町町長
守井 秀龍	備前市議会議長
土遠 孝昌	赤穂市議会議長
立花 照弘	上郡町議会議長

オブザーバー

加藤 明	関西福祉大学
藤村 忠史	はくほう会医療専門学校 赤穂校校長
田中 薫	備前緑陽高等学校校長
大角 謙二	赤穂高等学校校長

(2) 事務局及び各市町担当者

赤穂市：山内市長公室長、玉木企画政策課長、深澤企画係長、軀川主事
上郡町：木村企画広報課長、高永企画広報課副課長、玉石主事

4 会議の概要

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ

(3) 出席者等紹介

(4) 報告事項

- ・令和 5 年度事業報告について

(5) 協議事項

- ・令和 6 年度事業計画（案）について

(6) その他

(7) 閉 会

5 議事の概要

山内幹事 ただ今から、東備西播定住自立圏域 J R 利用促進協議会第 3 回総会を開催いたします。

本日は年度末のお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

私は、本日の司会進行をさせていただきます、赤穂市市長公室長の山内でございます。どうぞ、よろしくお願いします。

傍聴希望については、特に申し出はありませんので、引き続き会議を進めていきたいと思ひます。

それでは、開会にあたりまして、会長であります牟禮赤穂市長よりごあいさつを申し上げます。

牟禮会長

改めまして皆さま、こんにちは。

本日は年度末のお忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、会場につきましては備前市さんにご協力・ご尽力を賜りまして改めてお礼申し上げます。

J R利用促進協議会は、発足し様々な活動をしてまいりました。今のところ、赤穂線を始め山陽本線等、減便等され、要望等これまでしてきたわけですが、J Rについては、不採算路線の見直しをする等様々な報道がされております。輸送密度が2千人を下回るローカル路線については、廃止等実施していくということで、大変危惧しております。

東備西播定住自立圏域では、定住自立圏を推し進めるためにも、これ以上J Rの利便性が損なわれることは避けなければならないと考えております。

今後も引き続き2市1町が力を合わせ、J Rの利用促進を促進する取組を実施し、交流人口の増加、関係人口の拡大により圏域の地域経済の活性化を図っていききたいと考えております。引き続きのご協力をお願いしたいと思ひます。

本日は、令和5年度事業結果を報告させて頂くとともに、令和6年度の事業計画(案)についてご協議をいただくこととしております。

ご参集いただいております皆さま方の忌憚のないご意見をいただきますとともに、適切妥当な結論が得られますようお願い申し上げます。簡単ではありますが、会長のあいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

山内幹事

次に、次第3 出席者等紹介に移ります。

恐れ入りますが、ご紹介は、配布しております配席表により、替えさせていただきます。

なお、本日所要のため、備前商工会議所 寺尾会頭、赤穂商工会議所 目木会頭、上郡町商工会 大崎会長、上郡高校の村中校長から欠席する旨、連絡をいただいております。

それでは、ここからの議事進行は、会長をお願いしたいと思ひます。牟礼会長お願いいたします

牟禮会長

それでは、ここから議長を務めさせていただきます。
円滑な進行にご協力をお願いいたします。

次第4 報告事項に入ります。

(1) 令和5年度事業報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局

では、まずお手元に配布しております資料を確認させていただきます。

本日の次第、裏に会員名簿、配席表、右上に資料番号をいれておりますが、『資料1 令和5年度事業報告』、『資料2 令和6年度事業計画（案）』、その裏面が『参考1 JR利便性向上事業の予算（案）』、『参考2 JR駅別の乗車人数』、右上に「写」とあります『JR西日本岡山支社長あて要望書』と『兵庫支社長あて要望書』となっております。また、本日机上配布させていただいております、相生産業高校さんの利用促進プランにかかる神戸新聞の記事とプレゼンの資料です。

それでは、資料1 東備西播定住自立圏域JR利用促進協議会令和5年度事業報告をお手元にお願いします。

1. JR西日本への要望活動についてです。

（1）要望書の提出、ということで、JR山陽本線及び赤穂線の減便等についてダイヤの復活などの要望を11月21日岡山支社、12月26日に兵庫支社に各市町長さんに出向いていただき、要望活動を行っていただきました。

2. JR利用促進活動についてです。

（1）啓発活動については、圏域内のJRの各駅においてポスター及びのぼりを掲示しました。また、啓発グッズの配布を、上郡町は5月26日にマックスバリュ上郡南店で、赤穂市は5月30日にイオン赤穂店で、備前市も5月30日にマックスバリュ備前店で行いました。

次に（2）広報活動ですが、こちらは圏域内で開催するイベント情報を各市町の広報誌へ掲載し、イベント参加時の交通手段としてJR利用を呼び掛けました。

次に、3. その他活動といたしまして、

（1）担当者会議についてですが、資料のとおり2市1町の担当者が集まり4回協議を行いました。

報告事項につきまして説明は以上です。

牟禮会長

事務局の説明は終わりました。

ただ今の報告事項について、ご意見、ご質問等ありますか。

（特になし）

特にないようでしたら、次第5 協議事項に入らせていただきます。

（1）令和6年度事業計画（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局

続きまして資料2 令和6年度事業計画（案）をお願いいたします。

令和6年度に行う新たな取り組みとして、表の中ほどに記載しておりますが、フォトコンテストを開催してJR利用促進につなげていきたいと考えております。

また、例年通り『かみごおり川まつり』や『ひなせみなとまつり』、『赤穂義士祭』など各市町のイベントに市外・町外から電車を使って参加してもらえるよう各市町の広報紙等を通じてPRをしていくほか、引き続きJR西日本の兵庫支社と岡山支社へ要望活動をしていくことを計画しております。

本日の協議事項としてはこの計画（案）のみとなっておりますが、裏面の参考1をご覧ください。

こちらは、東備西播定住自立圏形成推進協議会のJ R利便性向上事業の予算（案）です。本日この後、東備西播定住自立圏形成推進協議会を予定しておりまして、そちらでご審議いただく予算となります。先ほどの事業計画（案）を実施するにあたり、掲記のとおり、主にフォトコンテスト実施に係る予算を計上しております。

次に、本日机上配布しております、参考2をご覧ください。

こちらは、J R駅別1日当たり乗車人数です。

2市1町の圏域内にある駅を一覧にしており、それぞれ岡山県の統計年報、兵庫県統計書から集計したものです。

一番右の欄が、最新の数値として令和4年度の状況ですが、岡山県の統計年報がまだ公表されていませんので、岡山県の駅については「未公表」とさせていただきます。

ご覧のとおり、令和元年までの圏域合計は約1万1千人台で推移しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった令和2年度、令和3年度は8千人代半ばと大きく落ち込みました。兵庫県だけを見ますと、令和4年度は行動制限が少し緩和され、乗車人数は少し改善したものの、依然としてコロナ禍以前の数字には戻っていないという状況です。

協議事項の説明は以上です。

牟禮会長

事務局の説明は終わりました。

ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ありますか。

守井委員

J Rへ要望については、人数が多い方が力になると思いますので、日程の関係もありますが、できればご同行したいと考えております。

いかかでしょうか。

牟禮会長

ありがとうございます。

ありがたいご提案ですので、事務局を通し日程調整をさせていただきたいと思います。

色んなご意見を賜ればと思いますので、お声がけさせていただきたいと思います。

フォトコンテストですが、今後担当者会議等で企画されるかと思いますが、どのような考え方で進める予定ですか。

事務局

どこまで条件をつけるかは未定ですが、J Rを利用していただいた写真を応募していただくようにしたいと考えております。

また、景品については、例えばICOCAをお渡しし、J Rの利用に繋がってほしいと考えております。

応募にあたっては、できればインスタグラム等を活用しながら、たくさんの応募をいただけるよう進めていきたいと思っています。

牟禮会長

山陽本線、赤穂線を含め、2市1町に所在する駅が10駅あります。事務局

から説明がありましたが、ＪＲを利用せず応募する、となると利用促進協議会としては、あまり好ましくないと思いますので、そのような点も含めて企画をお願いします。

他にご意見はございませんか。

田中校長 令和５年度では、啓発活動としてグッズを配布しましたが、令和６年度では啓発活動は実施しないのですか。

事務局 令和５年度はグッズの配布を行いました、来年度はそれに代わってフォトコンテストを開催したいと思います。

田中校長 手ごたえ的には、よかったという印象ですので、令和６年度は実施するのかなと思ひまして。

牟禮会長 グッズの在庫はありますか。

事務局 多少はありますが、大々的に配布するほどの数は残っていません。
来年度はフォトコンテストで利用促進を図りたいと思います。色々と試して何が効果的なのかを探っていきたいと思います。

牟禮会長 グッズがなければ配布は難しいかもしれませんが、のぼり旗等は使いまわしもできると思います。フォトコンテスト実施の際は、各市町の広報等を通じてＰＲすることになると思います。

実際にＪＲを利用している方に対して直接働きかけることの方が効果的な面もあると思います。校長先生からお話がありましたように、ＰＲ活動も検討していただければと思います。

他にありませんか。

守井委員 駅に車を駐車し、ＪＲを利用する方がけっこういらっしゃると思います。例えばその利用者に１割補助をする、というのはどうでしょうか。するのであれば自主財源でなければなりません、利用促進に繋がるのではないかと思います。

牟禮会長 パークアンドライドについて、いかがですか。

事務局 特別交付税については、確認したいと思います。

守井委員 特別交付税が使えるならと思ひまして。

牟禮会長 パークアンドライドについては、確認してください。

赤穂市の場合ですが、播州赤穂駅や坂越駅、有年駅に市の直営の駐車場があります。こういったところを使って通勤をされている方もいらっしゃいます。

民間の駐車料金に比べると安くはありませんが、結構使っていただいています。

色んな形を視野に入れ、事務局は調査をお願いします。

他にありませんか。
梅田副会長、お願いします。

梅田副会長

会長が隣にいる中で差し出がましいのですが、議長さんを始め要望時に出席されていない方もいらっしゃいますので、私なりに説明、共有させていただきたいと思います。

私たちが要望をしても、実際に数値が上がらなければ、将来的には増便どころか減便等が増える印象を受けています。

その中で、ＪＲの要望に対して、要望の方法を考えさせられる部分が大いにありました。

各市町がこのような取組みをし、一人でも多く乗るような努力をし、そのことを明瞭化してＪＲにお伝えする必要があると思いますし、実際に事業計画にあげていますが、一人でも多くの乗客数に繋がるような実行的な取組をしなければいけないと思います。

守井議長さんがおっしゃるように、要望に行く人数を増やすことも１つの手かもしれませんが、便数の維持をしなければ本当に困りますので、色んな方法を考える必要があると感じました。

牟禮会長

ありがとうございました。

計画案がありますが、これ以外にも各市町で色んなイベント等を既に計画されていると思います。各市町で情報を共有し、ＪＲの利用促進に繋がるものであれば、お互い広報誌に掲載する等対応したいと思います。

相生産業高校さんの資料についてです。

昨年 11 月 15 日に全国審査会で優秀な成績をとられました。相生産業高校さんにもこの会のオブザーバーとして来年度以降参加いただき、梅田町長からお話がありましたように幅広く利用促進される事業展開を実施しなければなりません。計画案にあるものに限らず、今後各市町で情報共有し、利用促進に繋げなければと思います。

他にありませんか。

(特になし)

特にないようですので、令和 6 年度事業計画（案）について、原案のとおり了承することにご異議ございませんか。

(異議なし)

ありがとうございました。

それでは、令和 6 年度におきましても、引き続きこの計画に基づきまして、ＪＲの利用促進に係る活動を進めさせていただきます。

つづきまして、次第 6 その他ですが、この際ですので、皆さまからその他

にご意見やご質問などございませんか。

(特になし)

事務局から何かありますか。

事務局 先ほど、会長からお話がありましたが、相生産業高等学校にオブザーバーとしてご参加いただきたいと思います。

牟禮会長 そのように働きかけをさせていただきますので、よろしくお願いします。

その他事務局からありますか。

事務局 この総会の後、午後５時３０分より、第３３回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたしますので、各市町の市町長様、議長様におかれましては、引き続きご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。

以上です。

牟禮会長 学校関係者の皆様、お越しいただきましてありがとうございます。ＪＲ利用促進に向けては、皆さま方のお力添えをいただき、進めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞご協力よろしくお願いいたします。

また、首長様、議長様におかれましては、引き続き東備西播定住自立圏形成推進協議会のご出席をお願いいたします。

以上をもちまして、東備西播定住自立圏域ＪＲ利用促進協議会 第３回総会を終了させていただきます。

大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。